

幸せを  
探している  
あなたに

## 韓国教育がノーベル賞をとることができない理由



**ユダヤ人と韓国人教育の差** 大学民国だと呼ばれるほど、教育の熱意、塾などにかかる教育費の負担は世界1位、大学進学率83.8%、それでも韓国は、まだ政治的な論議が多いノーベル平和賞を受けた以外に、ノーベル賞を受けた人は1人もいません。1896年スウェーデン人のノーベルの遺言により、基金168万ポンドの利子で、物理学・化学・生理医学・文学・経済学・平和の六部門にわたって人類の福祉に貢献した人や団体に授与されるノーベル賞(Nobel Prizes)。今年も間違いなく、受賞者の名簿にユダヤ人の名前が出てきているでしょう。少し前にあった、インターネット

記者の朝鮮デスク・ソンウイダル次長が「ユダヤ人と韓国人に対して」という記事を見ると、韓国の現実を振り返られます。「世界人口の0.211%(1,330万人)あまりのユダヤ人のノーベル賞受賞者は1910年から今年まで、組織や団体を抜いて、家系の半分以上がユダヤ人である場合に限りても受賞者が全部で179名も出ている。隠れたユダヤ人まで含めれば、およそ3分の1は越える」と指摘されている。2002年フィンランド、ヘルシンキ大学が世界185ヶ国の国民の平均IQを調査した結果、イスラエルのIQは95(26位)で韓国(106・2位)、アメリカ(98・19位)より低いことが判明した。専門家たちが何より選ぶ秘訣は、ユダヤ民族特有の根が深い家庭学習の伝統だ。たとえば、子どもたちがはじめて字を知りたさじを子ども口に入れてくれる。5才からは『トーラー』(旧約聖書のはじめの五巻)を教えるのに、よく学ぶ子どものために、特別パーティーを開いてくれる。子どもといっしょに休んだり、寝床につく時も、本を読んでやりながら、学習は甘くて楽しいことだと植え付けるのに最善を尽くす。子どもが成人式(13歳)を行う時まで、学校教育と別個で教える「夫婦合同教育」も特異だ。学習の焦点も『良い質問が良い答えよりはるかに良い』というユダヤのことわざのように、こういう雰囲気は成人になった後も続く。ユダヤ人のノーベル賞の『奇跡』は、国家次元の何かのプロジェクトによるからではなく、幼児期から知的訓練と討論を重視する社会の底辺に敷かれた一生学習文化の産物であるはずだ。熱い子ども教育の熱意と、生活姿勢という側面で「東洋のユダヤ人」と呼ばれる韓国の人々はどうか。塾や習い事など個人的に行う教育機関に子ども教育を押し付けたまま、学校では創意性や想像力とは距離が遠い、注入式中心の勉強に留まっている。これでは『ノーベル賞強国』の夢は、ますます遠くなっているのではないか…」とここで、このように優れたユダヤ人が世界の歴史の中で引続き困難にしている理由はいったいなんなのでしょうか。

**真の知恵と知識** この世では数多くの情報と知識があります。それで、Information時代とか、Exformation時代とか言われ、真偽を分別するのが難しい知識があふれています。むしろ、多くの知識が人間社会を混乱させ、墮落させています。

それなら、人を生かして世の中を生かす真の知恵の始まりは何でしょうか。真の知識がなければ、真の知恵が出てくることはできません。聖書は、真の知識の始まりは神様を畏れることだと言っています。(The fear of the LORD is the beginning of knowledge...箴言1:7)。なぜなら、真の知識は世の中の知識以前に人間が解決することができない問題を解決する霊的知識から出発するためです。人間は一人では生きることができず、幸せなはずもありません。また、罪と運命の呪いと災いから抜け出すこともできません。さらには、サタンという霊的な暗やみの勢力に勝つこともできません。それで、この問題を解決する真の知識が、まさに福音なのです。この福音を通して、神様の子どもになった祝福を味わうのが祈りで、真の知恵の始まりです。

「しかし、ユダヤ人であってもギリシヤ人であっても、召された者にとっては、キリストは神の力、神の知恵なのです。なぜなら、神の愚かさは人よりも賢く、神の弱さは人よりも強いからです」(コリント人への手紙第一1:24-25)。

## 救いに対する 正しい理解

**誤った救い観がもたらす不幸** ユダヤ人は聖書が話す人間を救うキリストを待ったのではなく、イスラエルの国を回復させてくれるメシヤを待ちました。その結果は、子孫に途方もない不幸を抱かすようになりました。458年間のローマ支配、436年間のアラブ族によるカナン地の征服、1917年～1948年までの英国の信託統治、第二次世界大戦の600万ユダヤ人虐殺、イスラエル独立以後に続いておきている自殺テロおよび報復戦……。誤った救い論がもたらした深刻な結果です。

**聖書が話す正しい救い理解** イエス様も一番最初に尋ねられたのが、救いに関することです。「人々はわたしが私をだれだと言っていますか」エレミヤ、エリヤ、パプテスマのヨハネ、預言者のひとりだと答えたのですが、これは間違った返事です。ローマ10章9～10節を見れば「心で信じて義と認められ、口で告白して救われるのです…だれでも主の名を呼ぶものは救われる」と言われています。明らかなのは、創世記3章の事件により救われることもできないすべての人は、サタンに押さえられているという事実です。それで、神様が条件をつけずに来なさいと言われたのです。使徒10章38節を見れば、悪魔に制せられた者を救い出すことを伝道だとおっしゃっています。救いに対しては多くの主張がありますが、私たちは予定論を信じます。救いと伝道は、神様の絶対主権的な時刻表の中にあるからです。それなら、救いと伝道は人間の努力以前に神様の計画で、時刻表であることが明らかです。神様の絶対的な主権の中で成し遂げられることが救いの働きで伝道です。人間を創造して私たちのいのちと死ぬ日を備えられた方は神様です。いくら神様を信じないといっても、その人を呼んでいく日は、神様が定められました。そして、神様がすべてのことを予定されました。その予定したことを全部、準備されました。それを摂理と言います。いろいろな事件が起きて、そこには必ず神様の意図と目的があります。それを経緯と言います。そのような中に、必ず皆さんの教会のそばに、皆さんの周囲に救うことに定められた時刻表があります。この時間に、皆さんが会ったということは奇跡のようなことです。それで単純に福音だけ伝えれば良いのです。使徒13章48節に「永遠のいのちに定められていた人たちは、みな、信仰に入った」と言われています。正しい救いが何であるかを理解したすれば伝道が自然に分かります。

「あなたがたがわたしを選んだのではありません。わたしがあなたがたを選び、あなたがたを任命したのです…。」(ヨハネ15:16)

### 神様の子どもになる受け入れの祈り

愛の神様、私は罪人です。イエス様が十字架で死んで、復活されることによって、私のすべての問題を解決してくださったキリストであることを信じます。今、私の心の扉を開いて、イエス様を私の救い主として受け入れます。今、私の心の中に来てくださって、私の主人になって、私を導いてください。これから、神様の子どもになった祝福を味わいながら生きるようにさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

### 神様の子どもの中の五つの確信

- 1 救いの確信：**イエス・キリストを信じて受け入れたあなたは、神様の子どもになって救いを受けました(ローマ 8:15～16、Iヨハネ 5:10～13)
- 2 祈り答えの確信：**神様の子どもはイエス・キリストのお名前でも何でも求めることができ、神様はみこころ通りに必ず答えてくださいます(ヨハネ 15:7)
- 3 導きの確信：**神様は聖霊であなたの中におられ、あなたのすべての人生を治めながら導かれます(ヨハネ 14:26～27、箴言 3:5～6)
- 4 救いの確信：**あなたのすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、神様はだれでも罪を悔い改めれば許して下さい(IIヨハネ 1:9、ローマ 3:24)
- 5 勝利の確信：**救われたあなたは、世の中に勝たれたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利することができます

### 神様の子どもの中の毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。

今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。

私の家庭と現場と行くところごとに、福音を邪魔して困らせるすべてのサタンの勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。

どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。

私の生活を通して、イエス様がキリストであるということがあかしされるようにして、私の現場に神の国が臨むようにしてください。

毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。

## 福音を持っている者の 力



ローマの十人の皇帝のキリスト教に対する迫害を避けて、ローマの町の外の地下の墓(カタコーム)で集まり始めた初代教会の信徒たち。A.D.313年コンスタンチヌス皇帝のミラノ勅令が宣言され、迫害されたキリスト教会は地下から地上に出てくるようになりました。当時、カタコームに最も多く残っていたイクトゥス壁画は、彼らの信仰を代弁しています、ギリシャ語で魚のことを (ichthus イクトゥス)と云うのですが、この単語を上からならべれば (Jesus イエス) (Christos キリスト) (Theos 神様の) (Uios 子ども) (Soter 救主)の頭文字と合います。初代教会の信徒のこの信仰告白は、ローマを変化させた福音の力でした。

**私の伝道決断** もし 3 年以内に皆さん地域にアナニヤ、ルデヤのような弟子が数百名起きて、福音(みことば)運動を展開したら、どのようになるでしょうか。神様がご覧になる時、最も重要なのは、正確な伝道決断を出すということです。自分が任された分野、自分の周囲にいる人、自分の地域で、神様の子どもになった権威を持って弟子を探すと決断をすることです。教会の中では、重職者企画チームを通して、教会の外では教役者を通してみことば運動が起きて、あちこちに隠してある伝道弟子を捜し出す伝道専門チームを構成することができるように決断しなければなりません。このような 3 つの組織を通して立てられた地教会は、伝道のための総合的祝福の実際です。そこでひとり、ひとりの福音でない部分が福音的な考えと生活に変化して、いつも福音を味わう状態になって、祈りを味わう状態になるように、福音の中での出会いと働きを通して、ローマ 16 章の祝福を味わうように手助けすることです。このような状態の中にいれば、必ず勝利するようになっています。使徒の働き 2 章のエルサレム教会の祝福と、アンテオケ教会

の世界宣教の祝福とローマ 16 章にある Oneness の祝福を味わいながら、結局、教会が地域の文化に残るように福音を持った教会の価値と重要性を教えなければなりません。それで、原色の福音ならば、メッセージの中でも伝えられるようになり、個人の時刻表と教会の時刻表と団体(本部)の時刻表を参考にしながら、すべての人が福音を聞き続けられるように、まず自分の伝道決断をしなければなりません。これが神様のみこころです。

回復して味わうべき福音の力 神様はなぜ 1 週間あれば行ける距離を 40 年間、行くようにされたのでしょうか。また、荒野の道を行く間に、なぜシナイ山に登るようにされたのでしょうか。3 つの大きい理由があります。神様は、私たちに完全な答えを与えることを願っておられます。信仰に成功した人たちの特徴は、この答えを待っていた人たちでした。そして、完全な福音を回復しなさいということです。時にはより良いものをくださるために、私たちに長い時間が必要なこともあります。信仰生活をする中に起きるすべてのことを通して、神様の重要な計画が備えられているということに分かるべきです。世の中のどんなことも、福音に勝つことはできないので、私たちが持っている先入観と言いつと固定観念を捨てて、正しい挑戦、正しい開始、正しい勇気を持って神様の恵みに感謝しながら、信仰の器を準備して、霊的な戦い勝利するべきです。福音を持った者には、小さい出会いを通して、神様の力が現れるようになります。多くの問題と葛藤を通して、神様の力が現れます。暗やみの勢力(サタン、悪霊)は、必ず縛られます。残っていることは、私の決断です。「神様、私に弟子をつけてください! 私の教会がこの地域を生かすようにさせてください!」

**私は、私を強くしてくださる方によって、どんなことでもできるのです。(ピリピ 4:13)**

説教\_柳光洙牧師, 整理\_チャ・ドンホ牧師

## 毎日毎日の森の泉

**09日(月)他の人々をリードする者( I 仏 3:9)**  
定刻祈り、常時祈り、礼拝祈り、集中祈りの奥義を持って、神様が与えられる答えを発見すれば、みことばが成就する答えを体験し、伝道に対する答えを受けて、考えと信仰と未来を先んじるなら、他の人とこの世をリードすることができます。

**10日(火)社会をリードする者( 列王 6:8~23)**  
終わりを見て行けば、必ず社会をリードすることができます。リーダーは、神様の子どもだという身分からくる力と神様の子どもが持っている権威からくる力を使うときに、どこでももって答えを見て、現場の一番必要なことと救われるものと弟子を見るようになります。

**11日(水)教会をリードする者( 行 2:1~7)**  
教会は福音を持った弟子が待っています。世界福音化に向けたメッセージを実際に成就させることに先に立ち、教会の講壇で宣言されたみことばを成就させる主役として、教会のかいこいにいる弟子たちを互いに連結して、弟子運動に先に立つことが、教会をリードしていく弟子の姿です。

**12日(木)祈りの答えにしたがって(使徒 1:12~14)**  
祈りはすべてのことの基準です。問題をにぎって祈り始め、答えを体験して、すべての生活を祈りの中に持って入り、生活と現場で祈りのリズムをのがしてはなりません。すべての出会いと事件とできごとの中で、祈りを味わいましょう。福音の中 24 時間祈りができるように挑戦すればよいのです。

**13日(金)祈りの始まり(エレミヤ 33:1~3)**  
神様はすべてのを計画され、成し遂げて、必ず神の子どもの祈りに答えてくださる方です。問題は最も良い祈りの課題で、祈りの始まりです。問題には必ず理由があり、答えがあります。問題を握って最後まで祈れば、革新と答えと真の感謝が出てくるようになります。

**14日(土)福音によってのみ経済を征服することができます(使徒 5:1~11)**  
福音は、サタンと呪いと偶像問題から離れるようにさせます。福音を味わえば、変化が起きて、唯一性の答えを受けるようになり、経済も征服するようになります。初代教会は、福音によって一つ(Oneness)になり、福音を持って現場を生かし、福音によって、神様の力が現れる奥義を持って経済を征服しました。

### 週間メッセージ

**産業宣教** : 失った Oneness を捜して (ローマ 16:17~20)

**伝道学** : 伝道と祈り (エペソ 6:10~20)

**核心訓練** : 重職者時代の現場 (使徒 9:36~43)

**聖日 1部** : シナイ山で回復すること (出 24:1~8)

**聖日 2部** : 福音を持った者の力 (ローマ 12:14~21)



イラスト\_ユン・スルギ

携帯電話にうれしい人の電話番号とともに「幸せに！」という字が出てくれば、とても心が楽しくなる。私の状況をあまり知らないでだろうが、いずれにしても、幸せであることを願う心はすばらしいというしかない。何が幸せなのかという質問は、歴史の中で多くの人々の疑問で、それなりに各自が求める条件がなされることもある。

英国の王が、ある日、自分に真の幸せがないことを発見した。臣下に命じて、英国でどんな人でも、だれでも幸せを感じる人のチョッキを持ってくれば大きい賞を与えろと言った。臣下は、全国の津々浦々を回りながら、幸せな人を尋ね歩いた。大きい家に住む人が幸せだろうと行ってみれば、家庭問題に苦しめられるので幸せがなくて、裕福に暮らす人が幸せだろうと会ってみれば、経済問題に苦しめられていて幸せが感じられなかった。美しい人が幸せなのかと会ってみたところ、自分より鼻がさらにきれいだと思う人をねたんで、鏡に恨んでいるので、幸せとは距離が遠く暮らしていた。黄昏に染まった美しい夕方に幸せな者を尋ね歩くのに疲れて、足をひきずりながら、ある山の頂上を回った臣下は、目をパッと開いた。赤く染まった紅葉の下にある女が鼻歌をゆったりと歌いながら畑から帰って行くのが、とても幸せに見えたためだ。足を速めて、その女に近づいて幸せかと尋ねたところ、額に流れる汗をふきながら、そうだとやったのだった。家は大きいのかと尋ねたところ、指で指す丘に見える家は、ただ雨

を避けられるほどの家で、外からは見えなかった。お金はどれくらいあるかと尋ねたところ、家畜を飼うお金がなくて、このように自分で畑で作っていると。では、何が幸せなのかと尋ねたら、英国王が守ってくれて、戦争がなくて生きていて、神様が健康をくださって、仕事ができるのに、何が心配なのかと言いながら、自分は一日一日が、ただ感謝で、畑で賛美を歌って仕事ができ、とても幸せだと話した。臣下は、まさにこの人こそ、王が探している人だと思って、その人にチョッキをくれと言った。すると、その人はにっこりと笑いながら、自分は貧しくて、チョッキを着ることができないと言った。

普通の人は、お金が多いことを幸せの条件になると勘違いして、それにだけ価値を置く。しかし、お金で時計を買っても、時間を買えるのではない。お金で良いベッドは買えるが、蜜の味のような眠りは買うことができず、お金で高い食べ物は買っても、食欲を得ることはできない。ある人は、名誉と権威に幸せの価値を置くが、彼らの最後が歴史の1ページにどのように記録されるかは、次世代の役割だ。

真の幸せは、たましいの価値を発見して、その価値に信仰を置くことだ。人生の行く道を知って、難しいが虚しくない人生、苦しくても悲しくない人生、つらいが疲れ果てていない人生、わずらわしいが苦しめられていない人生の価値を、福音の中で発見する人だけが、たとえチョッキを持っていなくても、真に幸せな者であることは明らかだ。

チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)